

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2004-2247(P2004-2247A)

【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2002-169188(P2002-169188)

【国際特許分類】

C 0 7 C 45/64 (2006.01)

C 0 7 C 45/82 (2006.01)

C 0 7 C 47/575 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 45/64

C 0 7 C 45/82

C 0 7 C 47/575

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月2日(2008.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

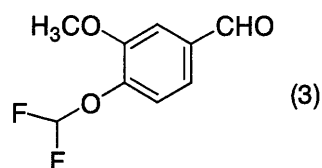
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

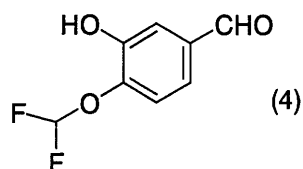
下記式(3)

【化 1】



をアルカリ金属塩の存在下に反応させることを特徴とする下記式(4)

【化 2】

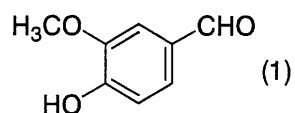


で表される 4 - ジフルオロメトキシ - 3 - ヒドロキシベンズアルデヒドの製造方法。

【請求項 2】

下記式(1)

【化 3】

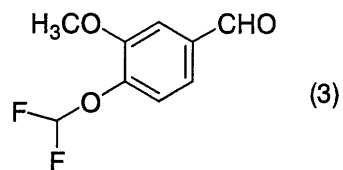


で表されるバニリンを式 (2)

$\text{C}_6\text{H}_4\text{F}_2 - \text{Y}$ ($\text{Y} = \text{Cl}, \text{Br}, \text{I}$) (2)

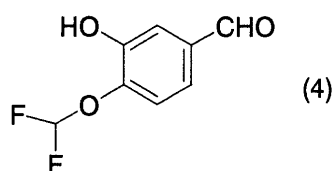
で表されるジフルオロハロカーボン化合物及び塩基の存在下に反応させて下記式 (3)

【化 4】



で表される化合物を合成し、次いで式 (3) で表される化合物をアルカリ金属塩の存在下に反応させることを特徴とする下記式 (4)

【化 5】



で表される 4 - ジフルオロメトキシ - 3 - ヒドロキシベンズアルデヒドの製造方法。

【請求項 3】

Y が、塩素原子である請求項 2 記載の製造方法。

【請求項 4】

式 (3) で表される 4 - ジフルオロメトキシ - 3 - メトキシベンズアルデヒド及び式 (4) で表される 4 - ジフルオロメトキシ - 3 - ヒドロキシベンズアルデヒドを含む反応混合物から、式 (4) で表される 4 - ジフルオロメトキシ - 3 - ヒドロキシベンズアルデヒドを蒸留により精製する請求項 1 または 2 に記載の製造方法。